

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』でご覧ください。

本に親しもう！読書の習慣を

「最近の子どもたちは本を読まない」と言われていますが、読書は、人格形成に重要な役割を果たす活動であり、文部科学省もHPで以下のように記しています。

読書することは、「考える力」、「感じる力」、「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性等」を生涯を通じて涵養していく上でも、極めて重要である。

某教育総合研究所による調査からは、以下のような傾向も確認されているようです。

- ①本を多く読んでいる子どもほど、テストの偏差値の変化にプラスの効果があった。その傾向は、漢字や文法などの「知識問題」だけでなく、思考力を問うような「読解問題」（物語文・説明文の読解）「挑戦問題」（日常生活場面での問題解決）のいずれにおいても同様にみられることから、読書は知識の獲得に有効だけでなく思考力などの多様な資質・能力を高めていることがわかる。

②本を多く読んでいる子どもほど「最初から最後まできちんと読む」「気になったところを読み返す」「登場人物の気持ちになりながら読む」など、読み方を工夫しており、「長い文章を読めるようになった」「新しいことを知ることができた」「興味のあることが増えた」「知っている漢字や言葉が増えた」など、自分でも読書の効果を実感している。

③本を多く読んでいる子どもほど、本を読んでいて「時間がたつのを忘れるくらい夢中になる」「心が落ち着く」を肯定する比率が高い。読書は、楽しみを広げ、気持ちの面でも大切な存在となっていることがわかる。

本校では、金曜日の朝の会を「朝読書」の時間とし、本に親しむ活動を行っています。

朝の会(8：30～8：45)について

- 【月・火・木】
朝学習や学級会、朝レク、きょうだい学級の交流など様々な活動をしています。

【水】
全校一斉の『朝学習』の時間です。プリントやタブレットを使って反復学習をしています。

【金】
全校一斉の『朝読書』の時間です。

低学年には担任外の先生たちが「読み聞かせ」をしています。5.6月のラインナップは

	1年1組		2年1組	
5/13	とべ バッタ	教頭先生	もっちゃんもっちゃんもうもっちゃん	内田先生
5/20	うしろにいるのだあれ	校長先生	りんごかもしれない	江上先生
5/27	ちがうねん	稲見先生	いいから いいから	中坊先生
6/ 3	パンダ銭湯	小田先生	十二支のおはなし	福田先生
6/10	もっちゃんもっちゃんもうもっちゃん	内田先生	ぼくのかえりみち	校長先生
6/17	いちにちこんちゅう ぶららんこ	中坊先生	とべ バッタ	教頭先生
6/24	りんごかもしれない	江上先生	ちがうねん	稲見先生
6/30	十二支のおはなし	福田先生	パンダ銭湯	小田先生



小田先生、教頭先生は大型モニターを使って



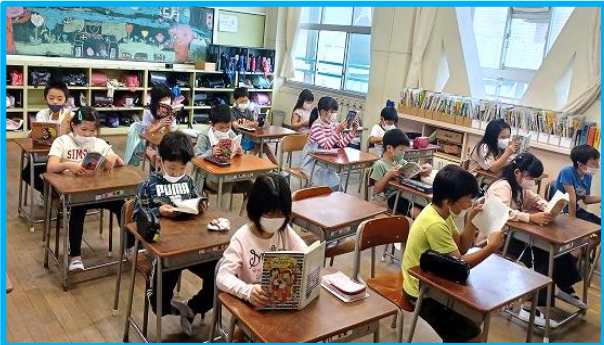
担任が読み聞かせをしているクラスもあります。ここでも大型モニターが使われていました。



福田先生は絵本を使って



落ち着いた雰囲気の中で、静かに読書をしています。静寂の中で聞こえるのはページをめくる音だけ・・・心が整う時間です。



担任の先生も一緒に・・・

